

全体版の概要 埼玉県四半期経営動向調査(平成21年4～6月期)

I 調査結果の総括

1 県内中小企業の経営動向

総括

県内中小企業の経営状況は、悪化に歯止めがかかりつつあるものの、厳しい状況が続いている。

今後については、改善の動きが見込まれるものの、厳しい状況が続く。

2 県内中小企業の経営者からみた経営動向

(1) アンケート調査結果から

- 経営者の景況感／景況感DIは▲88.6で、前期比2.7ポイント上昇。9期ぶりに改善。
- 今後の景気見通し／「良い方向に向かう」は増加。「どちらともいえない」の増加により、「悪い方向に向かう」が減少した。
- 売上げDI／6期ぶりに改善。来期も改善する見通し。
- 資金繰りDI／6期ぶりに改善。来期も改善する見通し。
- 採算DI／8期ぶりに改善。来期も改善する見通し。
- 設備投資／実施率は4期ぶりに上昇。来期は低下する見通し。

(2) ヒアリング調査結果から

- 経営者の景況感
 - 【製造業】 厳しい状況が続いているものの、改善の兆しがみられる。
 - 【小売業】 悪化している。
 - 【情報サービス業】 悪化しつつある。
 - 【建設業】 悪化が続き、厳しい状況となっている。

3 特別調査事項「雇用者数の過不足感について」

特別調査事項として、雇用者数の過不足感について、県内中小企業に聞いたところ、次のような結果となった。

- 雇用者数の過剰感が調査開始以来最高となった。「過剰」が28.0%、「不足」が11.1%で、平成14年以来7年ぶりに「過剰」が「不足」を上回った。「過剰」は平成12年の調査開始以来最も高い割合となり、「不足」も最も低い割合となった。
- 雇用者数は、前年同期と比べ「減少」が31.9%、「増加」が8.0%で、「減少」が「増加」を大きく上回った。

II 調査要領

1 調査の対象

県内中小企業

2 調査の方法

(1)書面によるアンケート調査 (2)業界団体及び個別企業への訪問ヒアリング

3 調査対象期間

平成21年4～6月(調査時期:平成21年6月)

4 調査対象業種及び回答数

① アンケート調査・・・景況感など、特別調査事項

- ・ 製造業： 880企業中、回答数 639 (回答率72.6%)
- ・ 非製造業： 1,320企業中、回答数 885 (回答率67.0%)
- 計： 2,200企業中、回答数 1,524 (回答率69.3%)

※製造業(11業種)：食料品、繊維工業、家具・装備品、パルプ・紙・紙加工品、印刷業、プラスチック製品、鉄鋼業・非鉄金属、金属製品、電気機械器具、輸送用機械器具、一般機械器具

※非製造業(7業種)：建設業、卸売・小売業、飲食店、情報サービス業、運輸業、不動産業、サービス業

②ヒアリング調査

- ・ 製造業： 21企業・組合
- ・ 小売業： 9企業・商店街
- ・ 情報サービス業： 3企業
- ・ 建設業： 3企業
- 計： 36企業等

5 実施機関

埼玉県産業労働部産業労働政策課及び埼玉県企画財政部地域振興センター

III 調査結果概要

1 アンケート調査結果の概況

1 経営者の景況感と今後の景気見通し

景況感DIは▲88.6で9期ぶりに改善。来期も改善する見通し。

業種別にみると、製造業は11期ぶりに、非製造業は9期ぶりに改善した。

〈景況感DI：前期 → 当期（前年同期）〉

- ・全体：▲91.3 → ▲88.6（▲69.4）
- ・製造業：▲92.5 → ▲90.0（▲63.0）
- ・非製造業：▲90.2 → ▲87.6（▲74.8）

〈「良い方向に向かう」と回答した企業割合：前期→当期〉

- ・全体：1.8% → 5.9%
- ・製造業：2.6% → 7.0%
- ・非製造業：1.1% → 5.0%

〈「悪い方向に向かう」と回答した企業割合：前期→当期〉

- ・全体：65.3% → 41.4%
- ・製造業：62.2% → 35.1%
- ・非製造業：67.9% → 45.9%

2 売上げについて

売上げDIは▲50.6で6期ぶりに改善。来期も改善する見通し。

業種別にみると、製造業、非製造業ともに6期ぶりに改善した。

来期については、製造業、非製造業ともに、当期の売上げDIを上回る見通しである。

〈売上げDI：前期 → 当期（前年同期） → 来期〉

- ・全体：▲69.8 → ▲50.6（▲35.5） → ▲34.4
- ・製造業：▲76.6 → ▲49.8（▲29.3） → ▲23.2
- ・非製造業：▲64.0 → ▲51.1（▲40.6） → ▲42.6

3 資金繰りについて

資金繰りDIは▲47.3で6期ぶりに改善。来期も改善する見通し。

業種別にみると、製造業は6期ぶり、非製造業は8期ぶりに改善した。

来期については、製造業、非製造業ともに、当期の資金繰りDIを上回る見通しである。

〈資金繰りDI：前期 → 当期（前年同期） → 来期〉

- ・全体：▲59.5 → ▲47.3（▲35.1） → ▲41.4
- ・製造業：▲65.2 → ▲50.0（▲30.6） → ▲36.1
- ・非製造業：▲54.6 → ▲45.4（▲38.8） → ▲45.2

4 採算について

採算DIは▲59.2で8期ぶりに改善。来期も改善する見通し。

業種別にみると、製造業は6期ぶりに、非製造業は8期ぶりに改善した。

来期については、製造業、非製造業ともに、当期の採算DIを上回る見通しである。

〈採算DI：前期 → 当期（前年同期） → 来期〉

- ・全 体：▲71.4 → ▲59.2 (▲50.8) → ▲46.0
- ・製 造 業：▲77.5 → ▲60.7 (▲49.0) → ▲37.6
- ・非製造業：▲66.3 → ▲58.1 (▲52.4) → ▲51.9

5 設備投資の動向について

実施率は14.0%で4期ぶりに上昇。来期は低下する見通し。
業種別にみると、製造業は4期ぶりに、非製造業は2期ぶりに上昇した。
来期については、製造業、非製造業ともに低下する見通しである。

- 〈設備投資実施率：前 期 → 当 期（前年同期）→ 来 期〉
- ・全 体：12.9% → 14.0% (21.7%) → 10.9%
 - ・製 造 業：15.4% → 16.9% (27.8%) → 11.4%
 - ・非製造業：10.8% → 11.9% (16.6%) → 10.4%

2 ヒアリング調査結果の概況

1 景況感

- | | |
|-------------|---------------------------|
| (1) 製造業 | 厳しい状況が続いているものの、改善の兆しがみられる |
| (2) 小売業 | 悪化している |
| (3) 情報サービス業 | 悪化しつつある |
| (4) 建設業 | 悪化が続き、厳しい状況となっている |

2 企業の声

- 「売上げは前年比で7割減、1～3月期と比べても3割減である」「底打ち感は全く感じない」
(一般機械)
- 「5月で在庫調整は終了した。6月以降の受注計画は増加となっている」(輸送用機械)
- 「昨年夏の売上げを100とすると、2月・3月は20～30だったが、4月以降徐々に戻り初め、今は50程度まで戻ってきた」(金属製品)
- 「競争力のない企業から淘汰されており、少ないパイを奪い合っている状況である」(印刷業)
- 「一部の個性的なブランドは前年の売上げを上回っているが、多くのブランドは20%以上減少している」(百貨店)

3 特別調査事項結果の概況 「雇用者数の過不足感について」

(1) 雇用者数の動向【前年同期比】

「ほぼ増減なし」 60.1% 「減少」 31.9% 「増加」 8.0%

(2) 減少した雇用者の職種【(1)で「減少」と回答した企業のみ】

「正社員」 37.4% 「正社員・非正社員の両方」 32.0% 「非正社員」 30.6%

(3) 今の雇用者数の過不足感

「適正」 60.9% 「過剰」 28.0% 「不足」 11.1%

(4) 職種別に見た雇用者数の過不足感【過剰感の高い職種】

「生産部門」 27.8% 「一般事務部門」 14.2% 「管理部門」 13.3%

(5) 年齢別に見た雇用者数の過不足感【過剰感の高い年齢層】

「60歳代」 38.3% 「50歳代」 30.9% 「40歳代」 11.9%

(6) 今後の雇用者数の見込み

「ほぼ増減なし」 73.1% 「減少見込み」 19.8% 「増加見込み」 7.1%

(7) 従業員に不足が生じた場合の対応（複数回答）【主な対応】

「パート・アルバイトを採用」 43.4%
「正社員を採用」 34.4%
「自社の定年退職期の従業員で対応」 17.3%

[このページに関するお問い合わせ先]

産業労働部産業労働政策課 長期戦略・企画調査担当 Tel:048-830-3723 Fax:048-830-4818 E-mail:a3710@pref.saitama.lg.jp